

あさひむら としよかん新聞

村立朝日村図書館発行

2022年9月1日

(第18号)

9月



「あさひのこらぼ」

朝日村図書館では、今年度より「あさひのこらぼ」と称して朝日美術館と様々なコラボをしています。現在、朝日美術館で実施中の

「朝日土偶おなまえ選手権」と、先月図書館で実施した「戦争とは何か？」が「あさひのこらぼ」です。そもそも始まったきっかけは、お互いが文化施設であることと、協同したほうが

利用者の豊かな学び、文化の向上につながることを考えたことからでした。

朝日土偶のおなまえ選手権と図書館の「コラボ」では、実物の土偶を見る学びは美術館で…土偶

のことや、時代背景などをより深く知っていたために、縄文時代や、土偶、朝日村の遺跡

に関する書籍の紹介は図書館で…というように

に、美術館と図書館で同じ「縄文」というテーマ

マを掲げ、学びをサポートしています。

「戦争とは何か？」では戦争に関連する書籍を一般向けのものから幼児向けのものまで展示しました。本を読むだけでは得られないものもたくさんあります。実際に

戦争資料を見て考えや、思いを深めていただこうと思い、図書館では、美術館に

戦争資料が展示されていること、またその資料の写真などを図書館で紹介し、『あさひ

ひのまなび』に取り組みました。

ひのまなび』に取り組みました。

今後は美術館以外の施設との「コラボ」も考えています。目印を見つけたら「あさひ

のこらぼ」に注目してみてください！

※「あさひのこらぼ」コラボレーション 異なる立場の人による協同の作業や活動。またその協力によって得られた成果など。

こちらが「あさひのこらぼ」の目印です！



「認知症のこと知っていますか？」

～9月21日は世界アルツハイマーデー～

今月は「地域包括支援センター×図書館」認知症について考えるコーナーを設置しています。すべての人に平等に訪れる“老い”そして“認知機能の低下”。避けて通れないからこそ、いま知ることが大切です。今月はみんなで認知症について考えてみましょう。

☆おすすめの認知症関連書籍☆

子どもに



認知症を知る

「じいちゃん、出発進行！」
「おじいちゃんの手帳」



「マンガでわかる！認知症の人が見ている世界」
「認知症世界の歩き方」

親が介護になる前に

「親の介護とお金が不安です」

今からできる予防

「1日1杯 脳のおそうじスープ」
「毎日1曲！脳が元気になる！歌って手拍子」

「あんしんしていいよ。これは、たいせつな、たいせつな、わたしたちのじゅんぱん」
わたしたちは生まれ、成長し、子どもを生み育て、そして老いていく。そのすべてが「大切な順番」。女の子が女の子になり、幸せの階段を上るときも、老いているんがかけがえのないものだというメッセージが心に響きます。



「いつかあなたをわすれても」
文：桜木紫乃
絵：オザワミカ
出版社：集英社

「セカンドブック事業」

今年も朝日小学校1年生を対象にセカンドブック事業を実施します。

今年のセカンドブックは…

- ・ゼフルダと人喰い鬼
- ・番ねずみのヤカちゃん
- ・あらしのよるに
- ・王さまと九人のきょうだい
- ・ゴインキョとチーズごろうぼう
- ・ノラネコべんだん 海の果ての怪物
- ・くもとり山のイノシシびょういん
- ・じゅげむ

8冊の中から読んでみたい1冊を選んでもらいました。

「のリストにある本は図書館でも読むことができますのでぜひ手に取ってみてください。

一般向け



「楽園のカンヴァス」
著：原田マハ
出版：新潮社



「女を観る歌舞伎」
著：酒井順子
出版：文藝春秋



「素晴らしききのこの世界」
編著：ポール・スタメッツ
出版：原書房

子ども向け



「すいはんきのあきやすみ」
作：村上いこ
出版：PHP 研究所



「むしたちのおんがくかい」
文：得田之久
出版：童心社



「14ひきのおつきみ」
作：いわむらかずお
出版：童心社

くだもの、野菜、きのこ…食欲の秋。音楽、美術、芸能…芸術の秋。そして秋の夜長は読書に最適！あなたはどんな秋を過ごしますか？